

家具転対策

任務

身の安全を確保せよ！



ケガ

大地震では家具や家電の転倒で負傷が多発し、動けないほど危険になる



火災

倒れた家具や家電が引火源となり、地震後に火災が発生する危険がある



避難障害

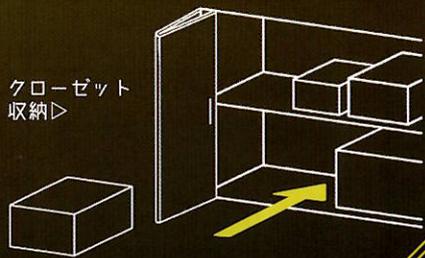
家具の転倒や移動が避難経路を塞ぎ、避難の妨げとなる危険がある



▽ あなたの命を守る家具転対策方法 ▽

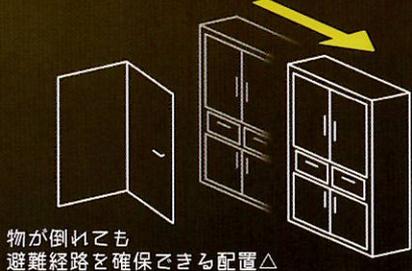
01 集中収納

できるだけ生活空間に物を置かない！



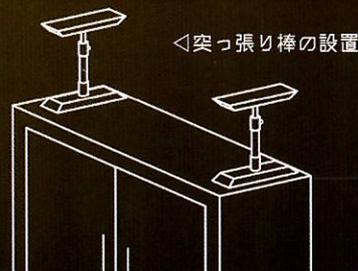
02 レイアウト

避難経路を確保できるレイアウト！



03 対策器具

家具が動かないように固定！



※家具転対策とは「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の略です

東京消防庁

制作：HAL東京 CG・デザイン・アニメ4年制学科 齊藤まなみ

かぐてんたいさく 家具転対策

家具類の転倒・落下・移動防止対策

固定していない家具や家電製品は地震が発生した際
けがや火災、避難の妨げとなる可能性があります。
特に地震時のけがは、原因の約30%から50%が
家具類の転倒・落下・移動によるものです。
家具転対策で災害に強い部屋をつくりましょう！

家具転対策をしていないと起こる3つの危険

けが



火災



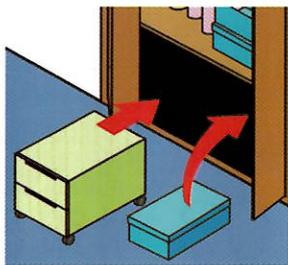
避難障害



家具転対策って何をすればいいの？

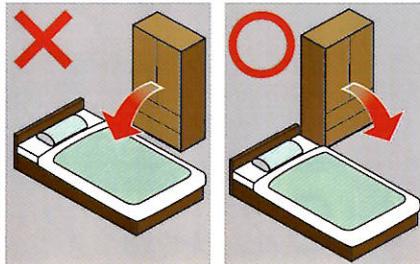
集中収納

クローゼットなどに物を収納し生活空間の家具を減らす。



レイアウトの工夫

地震時に避難の妨げやけがの原因とならない位置・向きに家具を配置する。



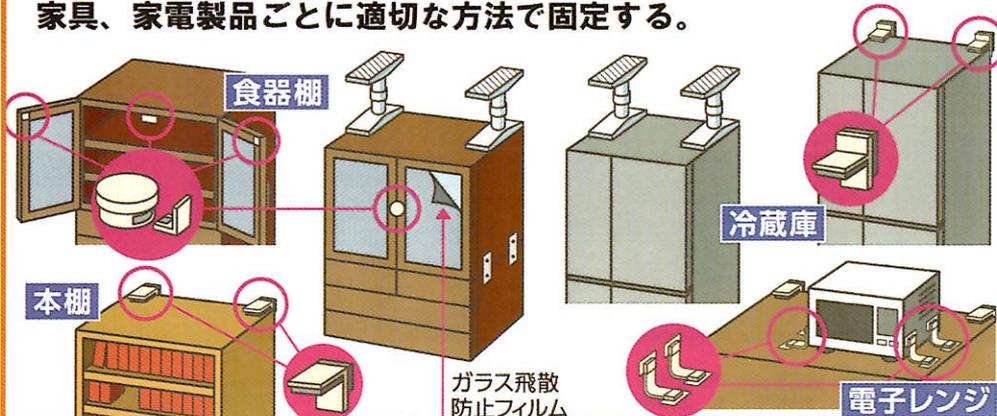
かぐてんたいさく

更に詳しいやり方
東京消防庁 HP



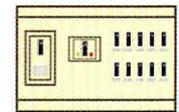
対策器具の設置

家具、家電製品ごとに適切な方法で固定する。



感震ブレーカー

電気を自動的に遮断して通電火災を防ぐことができます。
家具転対策プラスで災害に強い住まいを。



担当：東京消防庁 防災部 震災対策課 03-3212-2111（内線 3968）

※補助金、助成金の内容は区市役所や町村役場にお問い合わせください。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。